



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまな花を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

12月のストーリーテリング勉強会

2012年 12月 12日 (水) 午前 9:30~12:00

主催: 高知県立図書館 参加者: 14人

今回の勉強会は

1月 9日(水)

9:30~12:00 です

場所: 当館 3階大会議室

今月のおはなし

1. おいしいおかゆ 5分

『おはなしのろうそく1』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】はじめてだったので、緊張しました。今度は子供たちの前で、楽しく語りたいと思います。

2. 金いろとさかのおんどり 8分

『おはなしのろうそく3』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】低学年のクラスで語っています。歌とおはなしのバランスが難しいです。

3. 山の上の火 14分

『山の上の火』(クーランダー、レスロー/文 岩波書店)より

【語り手から】一からやり直します。是非、自分のものにするためにも。

4. スワファムの行商人 6分

『イギリスとアイルランドの昔話』(石井桃子/編・訳 福音館書店)より

5. おいしいおかゆ 5分

『愛蔵版おはなしのろうそく1. エパミナンダス』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】飛び入りで参加させていただきました。初めてだったのでとても緊張しましたが、一人で黙々と覚えるのと違い、楽しさも感じられました。もっと練習を重ねたいと思います。

6. みにくいアヒルの子(途中まで) 10分

『子どもに語るアンデルセンのお話2』(松岡享子/編 こぐま社)より

【語り手から】「以前、絵本で覚えられたところを、覚え直されたのやね」と笑顔で言ってもらえて、訂正出来てよかった。

7. クリスマス・キャロル 5分

『たのしい川べ』(ケネス・グレーアム/作 岩波書店)より

【語り手から】去る3月の子どもの本の読書会で「覚えたら聴いてくださいね」と約束しておいたものです。クリスマスに間に合ってたと思います。

8. 子うさぎましろのお話 16分

『子うさぎましろのお話』(ささきたづ/ぶん みよしせきや/え ポプラ社)より

【語り手から】ストーリーの山場が二つあり、子ども達が最後まで楽しんで聞くかどうか気がになっていた。前半で集中が切れるのではとの意見をいただき参考になった。

9. のねずみ(手あそび)

『手あそびうたブック』(永岡書店)より

【語り手から】のねずみは5匹まで増やす事ができて、指の数を増やしていきます。私の対象は高齢者ですが、子供さんにも使えると思います。